

ふくしまっ子チャレンジ サマースクール 2013 in 石川



報告書

平成25年**8月10日(土)～16日(金)** 6泊7日

主 催：ふくしまっ子チャレンジスクール実行委員会

宿泊場所：金沢青少年研修センター・石川県立能登少年自然の家

後 援：金沢教育委員会

『ふくしまっ子チャレンジサマースクール 2013 in 石川』を終えて

3.11東日本大震災から2年と半年が経過しました。風化が加速する一方、福島第一原発は収束どころか、汚染水問題等で世界の非難を浴びています。依然仮設住宅での生活を強いられておられる方々、全国各地に自主避難されている方々、避難したくても避難できずにいる方々など、多くの方々が厳しい生活環境の中で健康不安や経済不安などを抱えながら日々暮らしておられると聞きます。

今年のふくしまっ子達も、元気だった。

地元福島で子ども達の支援活動を続ける方の話では、子ども達の運動不足や精神的なストレスなどで、ハードなスケジュールや、イベントはなるべく避けて欲しい…という要望がありました。しかし、我がふくしまっ子チャレンジサマースクールに参加した子ども達は元気でした。

能登では過密スケジュールを軽くクリアし、朝からミニ運動会、サッカーに興じ、空いた時間も学生スタッフと体当たりで遊ぶ子供たちの姿は、感動でした。金沢に移動しても、夕日寺自然園では水鉄砲で大はしゃぎしたり、帰りのバスに乗るまで、寸暇を惜しんで遊びまくってくれました(笑)。

多くのスタッフが集まりました。

ふくしまっ子のために何かしたい!という大人スタッフがキッチンスタッフを入れて延べ40名以上、学生リーダーが大学生12名高校生5名、他看護士さんなど入れ替わり立ち代りで参加してくださいました。結果、万全のケア体制ができました。

なにより一人でも多くの方に、ふくしまっ子と関わっていただくことが福島の問題を身近に感じていただけることにつながる、との思いでスタッフ参加を受け入れました。自ら参加を申し出る方は、ボランティア精神のしっかりされた方ばかりで、こちらからの指示がなくてもかゆい所に気を利かせて動いてくださいました。

ふくしまっ子…の雰囲気は最高!

私は第1回目のふくしまっ子…から、言葉とか文字では言い表せない「雰囲気・みんなの気持ち・その場の気」というものが一番ふくしまっ子にとって大事だと信じていました。そのためのスタッフへの呼びかけをしたつもりです。今回はそれがさらにグレードアップして参加したみんなが家族のような…気軽に何でも話せるような雰囲気が出来上りました。

ここに第2回目のふくしまっ子チャレンジサマースクールが数多くの思い出を残して、無事修了したことをご報告申し上げます。また、本事業は福島原発の状況を考えると今後も数年、いや十年以上継続しなければならない事業であると思います。今後とも未永くご協力いただきますようよろしくお願い申し上げます。

多くの方々から、こころ暖まるご支援ご協力をたまわりましたことを改めて深く、深く感謝申し上げます。ほんとうにありがとうございました。



ふくしまっ子チャレンジスクール実行委員会

代表 岩井繁樹



ふくしまっ子チャレンジスクール2013



ふくしまっ子チャレンジスクール2013

事業報告書

1. 事業名 ふくしまっ子チャレンジサマースクール 2013 in 石川
2. 実施期間 平成 25 年 8 月 10 日(土)～平成 25 年 8 月 16 日(金) 6 泊 7 日
3. 宿泊場所 石川県立能登少年自然の家 石川県 鳳珠郡能登町 字九里川尻 16-20 (10 日～13 日)
金沢青少年研修センター 金沢市山ノ上町 49-1 (13 日～16 日)
4. 実施場所 石川県立能登少年自然の家 (カヌー体験・赤崎海岸釣り体験)
五色ヶ浜海水浴場 (石川県鳳珠郡能登町)
のと海洋ふれあいセンター (石川県鳳珠郡能登町)
夕日寺健民自然園 (金沢市夕日寺町) 金沢市東山界隈
5. 参加者 福島県の小学2年生～中学1年生／16名 保護者／3名
(本宮市6名 郡山市2名 福島市2名 いわき市2名 伊達市1名)
他県の小学生／5名(東京2名 石川県3名)

6. 事業内容

《主なスケジュール》

8月10日(土)

- 9：30 富士交通バス 郡山駅発 (大型バス、運転手2名、澤本親子・西口姉妹同伴)
歌・連想ゲームで盛り上がる。緊張が解けたかな。
- 12：00 黒崎 SA にて昼食 おにぎりをムシャムシャ、食欲満点
- 17：45 石川県立能登少年自然の家到着
- 18：00 ウエルカム夕食 (カレーライス)
- 19：00 オリエンテーション (施設担当者からの注意事項)
親しくなろうゲーム (体育館で大いにはしゃぎ回りました。皆仲良くなりました)
- 21：30 就寝

8月11日(日)

- 6：00 起床洗面、ラジオ体操、そうじ、朝食 (朝から元気!! 空き時間にはサッカー)
- 9：00 カヌー体験。対岸の岩場まで 20 分漕ぎました。皆で呼吸を合わせてイッヂー
岩場で休憩。海に入りたいー。帰りもみんなで汗を力き力き漕ぎましたー。
- 12：00 施設に戻り昼食 子供たちは元気、またまた空き時間にサッカー
- 13：30 五色ヶ浜海水浴場で海水浴
透明な綺麗な海、リーダーたちと大はしゃぎ。
スイカ割大会美味しい能登のスイカを頂き !!
- 16：00 入浴 広いお風呂でのんびり 夕食
- 19：00 ネット掲載用メッセージ&写真撮影
ジョンさんの英語教室
夜は参加の保護者との懇親会
(ふくしまの現状・子供たちの生活などをお聞きする)



8月12日(月)

- 6:00 起床洗面、ラジオ体操、そうじ、朝食(やはり今日も朝から元気!! 空き時間にはサッカー)
9:00 赤崎海岸釣り大会 餌を入れると魚が?! 魚が!! 見えるー(^o^) 中々釣れない面白さ。
郡山から参加の橋本父さん、ウニを素潜りで採り子供たちに食べさせてくれました。
- 12:00 昼食
13:30 海岸ハイキング。
海岸をゆっくりハイキング、途中滑って海に落ちる子も。(浅いので大丈夫)
16:00 海辺でバベキュー(焼きそば)各班に分かれ野菜を切り、焼きそば焼き焼き (^o^)
みんなで作ると味も格別。片づけもみんなでしました。
- 19:30 お待ちかねキャンプファイアー!!
炎に包まれルフィー登場?! ミルキー・トキ広島コンビによる
歌に、踊りに「熱いかな、寒いかな、よくかき混せて、あっちいちたら、あっちいち♪」
最後に道花さん親子による暴れ太鼓の競演、大迫力!!



8月13日(火)

- 6:00 能登少年自然の家の最後の朝
起床洗面、ラジオ体操ではちょっとしたゲームを、『猛獣狩り』に行きました。そうじ、朝食
- 9:00 海洋ふれあいセンター 3Dシアターを見て、施設の中を見学。
なんと小さなビオトープにはウニやサザエや小魚たちと
触れ合うことができました。
その後海岸沿いを探索です。
大きな箱メガネで海の中をギョロギョロ。
いるぞ!!いるぞ!!魚たち
- 13:30 昼食後 能登少年自然の家とのお別れ、いざ金沢へ
施設のスタッフの方々お世話になりました。
途中銭湯「和音の湯」にたちより大きなお風呂でゆったりでした。
格別ですなあー (*^_^*)
- 17:00 金沢青少年研修センター到着。去年もお世話になりました。
ボランティアのキッチンスタッフのお姉さま方の美味しい夕飯が待っていました。
- 18:00 夕食 配膳片づけは班で順番に行います。
ご飯は無農薬の美味しいコシヒカリ。
野菜も無農薬、エコファーム奥野さんの提供です。
トモファーム・あゆみの野菜の鍋島ご夫妻からの無農薬の野菜もいただきました。
美味しさのあまり、ご飯3升をペロリ)^o^)
- 19:00 森優さんによる子供たちの似顔絵。一人一人の似顔絵をプレゼントしてくださいました。
ジョンさんの英語教室&ゲーム大会 子供たち夜も元気いっぱい。



8月14日(水)

- 6:00 起床洗面、そうじ、朝食
8:00 エコー検査に出発
能美市の吉田小児科クリニックの吉田先生がお休みにも関わらず、子供たちのエコー検査をしてくださいました。帰り道では美味しいジェラートを食べに行きました。
13:30 夕日寺健民自然園で竹水鉄砲創り～水かけ大会。作った水鉄砲でみんなで掛け合い。
気持ち良いー!! 去年に引き続き止められない面白さ(^○^) 着替えを終えて、サッカーチームと、ザリガニ釣り組に分かれ活動 ザリガニ釣りはどんどん釣れたぞー
16:00 入浴、ふれ合い時間 夕食
19:00 ジヨンさんの英語教室＆ゲーム大会
森優さんがリーダー、スタッフの似顔絵もプレゼント。
2日間本当にありがとうございました。



8月15日(木)

- 6:00 起床洗面、男前ラジオ体操で男磨きました。そうじ、朝食
9:00 創作活動
NPO 法人いしかわ自然体験支援隊の皆さん指導で
木の枝を使ったクリップ&竹けん玉を創作。
けん玉大会でのバトルも白熱でした。
創作活動には子供たちも眼がキラキラ☆
13:30 金沢東茶屋街散策
金沢らしい観光地でお小遣いを使いお土産を買ったり、
美味しいアイスを買ったり、観光を満喫。
金箔とお菓子のお土産多かったですね。
帰りに高木麹店で甘酒ミルクを頂きました。
15:30 金沢青少年研修センター着
入浴 夕食 (バーベキュー)
お世話になった方が集まり楽しいバーベキューとなりました。
19:00 さよならコンサート T.M.C.M バンドによるコンサートが開演。
トキ君とメグさんの素敵なお歌が館内に響き渡った。
そして炊事のお手伝いをしていただいた方々、
その他多くの協力していただいた方々と参加の子ども、
スタッフ全員による歌とダンスで大喝采。
その後キャンドルサービス。リボンちゃん・ミルキーのキャンドルタイム。
静かにロウソクを見つめ… そして猛獣狩りだー



8月16日(金)

- 6:30 起床洗面、朝食、荷物整理
8:00 閉校式 修了メダル・寄せ書き色紙授与 お別れあいさつ
みんなで輪になって「夢が夢があるから♪」
9:30 富士交通バス 金沢発（大型バス、運転手2名下村・西口姉妹・原田同伴）
16:30 郡山駅前到着
ふくしまっ子16名全員無事親御さんに届けることが出来ました。



また来年会いましょう!! それまでみんな元気で 行ってらっしゃーい。
そして、いろんなことにチャレンジ!



スタッフおよび協力者

(敬称略)

社会人スタッフ 14名

岩井繁樹、クノキ家（ジョン、メグ、シーファス、クリス）、澤本悟博、下村英司、瀬戸政浩
浜 敬一、伊勢朋之、伊藤はる子、徳井聰司

参加保護者 3名

橋本啓輔、橋本久美子、鈴木真由美

学生スタッフ 17名

クノキ家（ジョセフ、サイモン、メアリー、ビンセント）、森 和浩、清水十輝、田村朋久
伊藤 司、原田遼介、澤本剛希、佐々木亮太、富樫健太郎、澤本享宏、小辻真帆、坂上菜摘
西口真那、西口幸那

お手伝いいただいた方々 20名

- ◎看護師：佃 恵美子、田村幸子、前田由佳
- ◎救急指導員：永井敏昌、吉本 哲
- ◎イベント協力：木谷あけみ、鳴原直樹、村上博司、三浦栄治、三浦靖治、三浦悠介
道花 博、道花正博、道花大毅、伊藤悦男
NPO 法人いしかわ自然体験支援隊：森江 章、佐野郁雄、岸 武夫
- ◎エコー検査 吉田小児科クリニック：吉田 均 医師、井家祥子
- ◎運転スタッフ：猪飼純市、梅野清一郎

炊事でお手伝いいただいた方々 25名

道花敬子、中村仁美、高田麻里子、北村純子、石黒由加里、梅沢 清、八田育子、中川久美子
瀬戸カオル、横越和子、猪飼紀子、新田由佳、原田加代、伊藤久子、中村ちか、森 優
木谷あけみ、中内晃子、東しげの、吉谷道江、三浦育代、伊藤春香、源 真由美、村上麻代
澤本多日子

その他募集活動その他にご協力いただいた方々

北國新聞社、広告工房アピール、木崎馨雄
NPO 法人 放射能から子どもを守る福島ネットワーク

協賛金ご協力者

(敬称略)

企業・団体様

- ◎西日本旅客鉄道労働組合 西日本JRバス地方本部 他金沢分会有志一同
- ◎西日本JRバス地方本部 執行委員長：西原一英 ◎株ユティック ◎すし寅 ◎株桶村設計
- ◎金沢四十万郵便局御一同 ◎(有)庭田建具店 ◎瀬戸機工サービス ◎カオル正體
- ◎株ネットアプリ：西田 誠 ◎株マツバラ：松原大輔 ◎株金沢ヨコイ部品：横井真津乃
- ◎株やね屋 ◎安地建築 ◎松下正治 ◎株長覚硝子建材店 ◎先出谷板金工業株
- ◎先出谷板金工業株：松尾友一郎 ◎トクヒ）こらぼる 浜 敬一 ◎有岩上住宅：岩上浩子
- ◎株大門システムズ ◎株サナ ◎有ティー・エス・エー ◎楽農心友会 ◎水島郵便局御一同
- ◎田中屋薬局 ◎株ピーアイコーポレーション：永藁祐一 ◎山本工務店 ◎アズマ建築
- ◎株木村産業南店 ◎株作造 ◎作造会 ◎株ピコイ ◎石川ミルコン株 ◎山屋：棚田恵子
- ◎富士ゼロックス北陸株 ◎エコファーム奥野 ◎株金沢オーガニッククラブ
- ◎中国建材工業株 会長：石崎真介 ◎株澤本商事

個人・グループ様

中川久美子 氷見純子 塚田和恵 坂井正夫 相馬中学同窓会有志一同 宮下雅子 吉田 茂
越村ちか 矢来幸子 一丸清美 北嶋孝博 谷本淑子 大川郁子 川上万里子 多田和美 村中紀子
米林久美子 細川信喜 中内晃子 猪飼純市 大野彰子 新村知子 西尾修一 砂塚博希 吉本 哲
桑村佐和子 大蔵紀子 松本泰治 帆苅宏典 平岡純一郎 雪の会：山本洋子 道花敬子 飯島泰輔
河岸 博 舟本久恵 小泉明子 井波裕子 山崎千亜紀 本城弘幸 山崎れい子 前田由香
佃 恵美子 田村幸子 永井敏昌 本橋誠一 北 和久 遠藤洋子 北 和代 奈良 勇
金田まり江 西野和也 瀬戸政浩 瀬戸カオル 渥美知里 高田 萌 下村英司 村井陽子
福岡明夫 八田育子 山本 悟 東出陽一 伊瀬朋之 北市由紀子 中村仁美 今村 龍
五十嵐正博 中野正規 上篠 誠 sawa会：西口智子 石田敦士 三宮敦代 中野多美 高森玲子
山田憲昭 吉谷道江 宮川しのぶ 尾柄由利江 石渡琢朗 富田敦子 高柳栄利子 小花康幸
北村秀樹 清水美保子 小松靖典 中川和宏 中川りつ子 中宮憲一 島野健太郎 田中宣充
山越 衛 小野薰三 中村聖子 松林賢治 山村正信 飯森博子
原発の危険から子どもを守る北陸医師の会 澤本三十四 澤本多日子 澤本悟博 岩井繁樹
他匿名希望 2名

食材提供・現物ご寄付様

エコファーム奥野 株金沢オーガニッククラブ あさひ屋ベーカリー 森江 章 小泉明子
山本充洋 赤井由美子 誓立寺 原田加代 伊藤久子 トモファームあゆみ野菜 三浦栄治
牛乳村夢畠地 高木糀商店 木崎馨雄 舟本久恵 山崎千亜紀 小辻直代
ベーカリーホーム SMILE 志水 隆 志水ひろみ 橋本啓輔 橋本久美子

こころ暖まるご寄付、ご協力ほんとうにありがとうございました。

参加者アンケート結果

参加 12 家族中 10 家族さまより回答をいただきました。

①この事業を知った媒体は何でしたか？

ネット（子ども福島のHP）	2
友人知人の紹介	3
去年参加したから	5
ラジオ	0
チラシ	0
新聞	0

②参加の理由は何ですか？ 複数回答可

放射能からの退避	6
夏の思い出作り	8
行事に魅力を感じた	2
友達を作るため	1
石川県に行ってみたい	3
自然に親しませたい	7
キャッチコピーが気に入った	0
去年楽しかったから	5

③来年開催された場合、参加したいですか？

ぜひ参加したい	8
できれば参加したい	2
参加したくない	0

④プログラム全般についてどうでしたか？

とても良い	7
良い	3
普通	0
悪い	0

⑤どの行事が良かったですか？ 複数回答可
一番良かった行事に○◎を付けてください。
(○は1点◎は3点で集計)

カヌー体験	9
海水浴	17
魚釣り大会	7
海岸散策	3
キャンプファイヤー	10
海洋ふれあいセンター	4
水鉄砲つくり	7
金沢東山散策	10
創作活動	4
バーベキュー	8
さよならパーティ	8
英会話教室	6

⑥食事についてどうでしたか？

とてもおいしかった	4
おいしかった	5
普通だった	1
おいしくなかった	0

⑦リーダーの指導は良かったでしょうか？

とても良かった	8
良かった	2
普通だった	0
悪かった	0

保護者の感想

大変お世話をになりました。

帰ってきての様子は、とても楽しい7日間だったと…。

初めて子供と7日間も離れ、親の私が不安で心配でしたが、

本人は全くそんな様子もなかったみたいです。もっと石川に

いたかった…!と、話していました。

とても楽しくみな様によくしていただきたんだと思いました。

ありがとうございます。

震災後に比べるとだいぶ子供たちの状況は制限されなくなりましたが、以前放射能は子供たちのまわりに存在し続けています。住んでいる本宮市も住宅の除染は始まっていますが、うちはまだ先のみです。ホールボディカウンター、ガラスバッチを常に身に着け、福島の子供たちは一生健康に不安を抱きながら生活しているかもしれません。

本当にこのかな長期、福島を離れ保養できる機会をいたしました、感謝の気持ちでいっぱいです。

今回でおわることなく、こういった機会を毎年していくのがあと大変ありがとうございます。

1週間、大変お世話をになりました。

脩輝も、とても楽しかったみたいで、家に帰る車中では「ー」としゃべり、泣かなければでした。(笑) 未経験の事ばかりで(自己)意識していかないが、何かもう少し帰ってきてはよかったです。

帰ってきた翌日は岩井さんからお電話をいたしました時、脩輝は熱を出していたのですが、「来年もやるって言ってます!」と伝えたら「行くー!」と元気に返事がありました。来年もぜひ参戻させてください。よろしくお願ひします。

子供達の大変お世話をになりました。

親元を離れる自然、すて思ひ、ヨリ遊べるのか良いみたいだと、とてもスッキリしたは生生とした顔に戻っていました。

年賀状をやりとり、キャンプでの体験食を多くう語って山登りや様子を見てみると、とても楽しかった事が多いです。

来年もまた行きたい、と、二人とも言っています。私達も

是非行かせてもらいたいと思います。

福島は、まだ皆様をご招待出来るのみですが、とにかく恩返し出来ないから心苦しいあります。

・とてもスッキリした生き生きした笑顔で戻ってきました。二人とも来年も行きたいと言っています。是非行かせたいと思います。福島は、まだ皆様をご招待できるような状況ではなく、恩返しきれないのが心苦しくもあります。

・ふくしまっ子チャレンジスクールに行くまでもとても楽しみにしていて、それまでに宿題も終わらせると張り切っていました。帰って来たときはとてもいい笑顔で色々と話してくれました。楽しかったと同時に淋しさもこみあげてきて、皆さんとのお別れをさびしく感じていたようです。

去年同様、とても楽しい思い出になりました様です。

帰ってきたのしばらくは、みんなと離れていましたがさしかかるあたりですが、親としては、大きな成長を感じました。磨羽は、1人子なので、お兄さんやお姉さんにたくさん遊んでもらえた事が一番うれしかったそうです。

来年は、個々の事情から、一緒に参加できますが、がもしれないスタッフの方々もいらっしゃる様ですね。。

磨羽は、とても残念がっていましたが、「みんな一生懸命がんばっているんだよ」と説明すると、また会えるかもいね」と来年への意気込みを新たにしていました。

来年は、忘れ物ゼロを目指しているそうです。

去年の分の忘れ物もきちんと保管して下さりありがとうございました。たくさんのスタッフの方々のご協力により、今年もまたステキな夏休みを過ごせた事、心より感謝しています。来年も、どうぞよろしくお願ひ致します。

・娘はなかなか打ち解けずお手数おかげしましたが、本人なりにとても楽しかったらしく、来年も行きたい!と家に戻ってからは興奮気味に楽しそうに弟と二人で話していました。

・水鉄砲や竹で作ったもののおみやげも今も大切にしています。

・おこづかいを増やしてほしい。(父に輪島塗の箸を買っててくれたのですが、その前に金粉を買ったら、母の箸は買えなかった。本人が思い出に残る物も買えたらよかったです)

・最近あまり学校や友達の事を話さなくなりました。成長の段階で仕方ないと思うのですが、今回のサマースクールの事はとても嬉しそうな顔で話していました。余程楽しかったのだろうな~と思いました。

参加保護者の感想

橋本 久美子

水鉄砲で、はしゃぐ子供たちを見て、なんとなく心が痛みました。このまま、郡山に居ていののかな？こんなふうに遊べる環境じゃないなあ、と。石川県でこんなに、福島の子供たちを考えてくれる人たちがいるのに。でも、こういう場に参加して、少しでも福島を離れるだけで違うかな？と感じてます。とても良かったです。そして、新たな出会いもあり、目指す所がある人って、素晴らしいなあ、と。これからもよろしくお願ひします。

橋本 啓輔

皆さんの福島への支援本当に感謝しています。去年息子がお世話になりました、どのような生活をしているのかと思い急に参加しました。私の身勝手な参加を快く受け入れていただき、ありがとうございました。1週間、子供たちとスタッフの皆さんと過ごしましたが、こんなに毎日、充実した日々を送るのは大人になってからなかったような気がします。子供たちもスタッフも一生思い出に残る夏だったと思います。また来年再来年も続けて行ってください。私もボランティアで参加して行きたいです。

鈴木 真由美

ふくしまっ子20人弱のために沢山のみなさんの手間や時間や心や物資など、本当にありがとうございました。お手伝いを少々しながら参加させていただいて、私にとってもすごく充実した楽しい1週間でした。子供たちが思いっきり遊んで、思いっきり食べる姿を見ていると、とても幸せな気持ちになりました。と同時に、本来なら福島県でも同じことが心おきなくできたはずなのにな、という少しだけ淋しい思いも。でも、石川でしかできない体験も出来なかつた皆とも出来最高の時間を過ごすことができ、心より感謝です。参加する子供たちもあの1週間のことを大きくなつても憶えていて、来年、再来年とまた新たな体験や人の関わりを続けていけたらいいなと思い、そして私もそのお手伝いができれば幸いです。

スタッフコメント

澤本 悟博（ふくしまっ子チャレンジスクール実行委員会 代表幹事）

子供たちの笑顔とリーダー、スタッフの笑顔で過ごせた1週間、楽しい時間を共有出来たことに感謝します。海三昧って良かったですね。来年も海三昧ですよー。お父さん、お母さんも是非一緒にいらしてください。海満喫しましょう。

小辻 真帆（金沢大学4年）

今回2度目の参加をさせて頂きました。今年も素敵な子どもたちとスタッフとの出会いに感謝しています。ふくしまっこを通じてあたたかい人の輪が広がっています。子どもたちは元気で素直で、彼らの笑顔から大きなパワーを感じました。優しくしっかり者で年下の世話をしてくれる子、甘えん坊でみんなから可愛がられている子、一つ一つの作業を、ゆっくり考えながら丁寧に行う子、個性は違いましたが、みなそれぞれ良さを持っていました。

大好きなふくしまっこが安心して暮らせる日が一日も早く訪れますように。

森 和浩（金沢大学4年）

今回、6泊7日の短い期間でしたが、福島の子供達とスタッフの皆さん、ご協力いただいた全ての方々のお力でとても素晴らしい日々を過ごすことができました。今までどこか他人事のように聞いていた福島や原発に関するニュースも、ふくしまっこに参加以降には子供達の顔が浮かんできてとても人ごととは思えません。正しい知識や情報を自身で学ぶ必要性を感じています。また子供達の素敵なかわいい笑顔に会うことを楽しみにしています。

編 集 後 記

去年に引き続き、総じて高評価をいただいたことに素直に感謝いたします。今回、去年から引き続きの参加者10名と参加者からのお誘いからの拡がり、そして子ども福島のHPからのお申込み参加者となりました。去年のアンケートの感想通り、子供達みんなが今年も参加してくれて、友達も誘ってくれた事、そして今年のアンケートにも来年もぜひ参加したい！と子供たちの声(*^_^*)

嬉しいですね♪

去年より多くの学生・大人・キッチンスタッフの参加と福島からの保護者の方々の参加で、より一層輪がひろがり、繋がっていくことで続ける力をいただいているようです。

子供達のキラキラした笑顔いっぱいの写真を見ながら、関わっていただいた皆様が長いよう短かった暑い夏のチャレンジスクールをもう一度思い出し、語り合っていただける報告書となっていれば幸いです。そして、原発事故や金沢から500キロ離れた福島が決して他人事ではない事、より身近な問題として考えていきたいです。

アンケート結果、感想を今後に生かしてもっと楽しくもっと愉快なチャレンジスクールにしていきたいと思います。たくさんのご支援・ご協力、本当にありがとうございました。

また来年もお会いできることを楽しみにしています～！

ふくしまっ子チャレンジスクール実行委員会 事務局 澤本 多日子



2013
ふくしまっ子チャレンジスクール実行委員会